

第1回北海道バンドミュージックキャンプ (HBMC) 実 施 要 領

1 各パートの募集定員

1	ピッコロ	5名	11	トランペット	16名
2	フルート	16名	12	トロンボーン	12名
3	オーボエ	8名	13	バス・トロンボーン	4名
4	ファゴット	8名	14	ホルン	16名
5	E♭クラリネット	5名	15	ユーフォニアム	8名
6	B♭クラリネット	30名	16	E♭テューバ	4名
7	バス・クラリネット	5名	17	B♭テューバ	8名
8	アルト・サクソフォーン	8名	18	コントラバス	8名
9	テナー・サクソフォーン	8名	19	パーカッション	16名
10	バリトン・サクソフォーン	5名		合 計	190名

- 上記の人数をおよそ半数にしてA群・B群とに分け、二つのバンドにします
- 上記パートの人数に満たない場合は、他パートで人数を補うこともあります。
- 参加の申し込みは先着順とし、各パートの定員が満たされた時点で申し込みを締切とします。
- 申し込み状況は当連盟ホームページに掲載し、その都度申し込み状況が分かるようにします。
- 同一校での参加申込は1パート、1人までとします。ただし、クラリネットは2名までとします。

2 講習内容

①1日目前半 合奏基礎練習(14:00~17:30)

第三会場(ホテルさっぽろ芸文館)の会議室で、A群とB群の二つのバンドが同時進行で、バンドディレクターの指導による合奏の基礎練習を行います。

②1日目後半 合奏(18:30~21:00)

第三会場の会議室で、A群とB群の二つのバンドが同時進行で、バンドディレクターの指導による合奏を行います。

③2日目午前 合奏基礎練習・合奏(9:00~12:30)

A群は第一会場(大ホール)で、バンドディレクターによる指導で合奏を行います。
B群は第三会場で、バンドディレクターによる指導で合奏の基礎練習を行います。

④2日目午後 合奏基礎練習・合奏(13:30~17:00)

A群は第三会場で、バンドディレクターによる指導で合奏の基礎練習を行います。
B群は第一会場で、バンドディレクターによる指導で合奏を行います。

⑤2日目夜 受講生と講師による発表(19:00~20:30)

A群とB群による演奏で、2日間の練習の成果を発表し合い、お互いに鑑賞します。
また、本講習会の講師による独奏とアンサンブルの演奏も行い、それを鑑賞します。

⑥2日目夜 合評会(20:30~21:00)

バンドディレクター及び講師による講評を行っていただきます。

⑦3日目午前 各楽器別実技講習(9:00~12:00)

第二会場(市立札幌大通高校)と第三会場(打楽器 他)とに分かれて、楽器別の実技講習を行います。
※受講生は3日間の受講内容についてアンケートに記入し、提出してもらいます。

3 会 場

①第一会場(ニトリ文化ホール 大ホール)

②第二会場(市立札幌大通高校)

③第三会場(ホテルさっぽろ芸文館の会議室) ※本部・救護室は第3会場

4 講 師

【楽器別実技講習】

Picc 山崎 衆(札幌交響楽団) Fl 高橋 聖純(札幌交響楽団) Fl 阿部 博光(北海道教育大学)
Ob 岩崎 弘昌(札幌交響楽団) Fg 坂口 聡(札幌交響楽団) Cl 三瓶 佳紀(札幌交響楽団)

Cl 多賀 登(札幌交響楽団) Cl 村松 時雄(元札幌交響楽団) Cl 中川 知美(クラリネット奏者)
Sax 大和田 雅洋(洗足学園音楽大学) Sax 平賀 真奈美(北海道教育大学) Trp 福田 善亮(札幌交響楽団)
Trp 松田 次史(札幌交響楽団) Trb 山下 友輔(札幌交響楽団) Trb 野口 隆信(札幌交響楽団)
Hr 橋本 敦(札幌交響楽団) Hr 岩佐 朋彦(札幌交響楽団) Euph 安東 京平(ユーフォニアム奏者)
Tub 玉木 亮一(札幌交響楽団) Cb 助川 龍(札幌交響楽団) Perc 武藤 厚志(札幌交響楽団)
Perc 藤原 靖久(札幌交響楽団) 22名

【合奏と合奏基礎練習】

大阪 泰久(国立音楽大学名誉教授) 阿部 博光(北海道教育大学教授)
宋倉 晃(バンドディレクター・作編曲家) 井田 重芳(東海大学付属第四高等学校教諭)

5 受講生の救護

体調を崩して具合が悪くなった受講生に対して、救護室を用意し、看護師を2日間配置して対応します。
ただし、著しく体調が悪くなった場合は、保護者に迎えに来てもらいます。
救護室は第三会場に用意しています。

6 参加料の納入

参加料(受講料・宿泊代・食事代)として受講生一人、15,000円を当連盟に納入してもらいます。
納入方法は下記の振込先へ期日まで納入してください。

振込先:(郵便振替)02790-3-32685 北海道吹奏楽連盟 理事長 井田重芳

振込期日:平成25年4月22日(月)

※申し込み決定の通知後に参加料を振り込んでください。

7 ホテルの部屋割

ホテルの部屋は相部屋(2人~3人)とします。(できる限り同一校、または同一パートを同室にします)

食事は1日目の夕食~3日目の昼食までを用意します。(3日目の昼は弁当を用意します)

※札幌市内及び、近郊から参加の受講生も宿泊してもらいます。通いは原則として認めません。

8 交通費の補助

札幌市外(石狩市・江別市・北広島市を除く)から受講する生徒に対して交通費の一部を補助します。金額は次の5段階を距離に応じて定め、受付時に当連盟より支給します。

①片道50km未満(小樽・岩見沢 etc)	2,000円
②片道50km以上、100km未満(苫小牧・砂川 etc)	3,000円
③片道100km以上、200km未満(旭川・室蘭 etc)	4,000円
④片道200km以上、300km未満(帯広・遠軽 etc)	7,000円
⑤片道300km以上(函館・釧路・北見・稚内 etc)	10,000円

9 持ち物

担当楽器、譜面台、チューナー、事前に送られた楽譜、洗面具、着替え、保険証のコピー、常備薬等。打楽器はスネアドラム(スタンド付)、スティック等を各自持参してください。

なお、服装は気軽に行動できる自由な服装でよろしいです。

10 当連盟で用意する楽器

スネアドラム以外の打楽器は当連盟で用意します。それ以外の楽器は各自で用意してください。なお、コントラバス等、容易に持参できない楽器については当連盟にご相談ください。

11 その他

- ①A群・B群のグループ分け及び、パート分けとホテルの部屋割、並びに楽譜の送付は申し込み後、事前に所属校顧問宛にお知らせします。
- ②4日と5日の2日間、ヤマハミュージックリテイリングに依頼してリペアコーナーを設置します。
- ③加盟団体の指導者、団員、引率者、保護者の第一会場(ホール)のみの講習の聴講は構いませんので、遠慮なくご参観ください。
- ④参加者には保護者の承諾書を提出してもらいます。未提出の場合は申込を取り消します。
なお、保護者承諾書用紙は、北海道吹奏楽連盟ホームページからもダウンロードしてご使用いただけます。(ホームページ・アドレスは開催要項に記載)